事例No.	2753
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	一般社団法人竹田文化共栄会

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・公共施設活用

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

農山村の未来を創る
地域協働のまちづくり

出典

令和３年度ふるさとづくり大賞事例集

chapter 10



ふるさとづくり大賞 ―団体表彰―

農山村の未来を創る
地域協働のまちづくり

一般社団法人竹田文化共栄会（たけだぶんかきょうえいかい）



取組の概要

元々は坂井市竹田地区で森林の伐採や保全活動を行っていた団体であったが、2010 年の小学校休校を契機に、既存の公共施設を利用したグリーンツーリズムや県内外の若者との地域課題解決活動、林業体験などの森林を活かした教育活動等を企画・実施することにより地域の魅力を向上させるとともに、交流人口を拡大させている。

人口減少・少子高齢化が著しい農山村において、都市部の大学生等のヨソモノと住民が積極的に関わる場を設けることにより、地域に賑わいをもたらしている。

取組のプロセス

2010年
- 担い手（若者）の不足
- 地域の活力不足

きっかけ：産業の衰退による人口減少（若者離れ）が原因で竹田小学校休校

2011年～
- 地区の将来への危機感と地区を元気にしたいという住民の思い

協力隊員受入開始
- 2011 年から緑のふるさと協力隊、2015 年から地域おこし協力隊を受け入れ
- これに伴い、2011 年から集落支援員の設置も開始

2013年～
- 福井県立大学、福井工業大学の支援
- 将来ビジョンの実行

廃校の決断と将来ビジョンの策定
- 地区外の若者、大学、坂井市と共に将来ビジョンを策定
- 住民の総意により廃校を決断


竹田の里将来ビジョン

2016年～
- （NPO）パパジャングル、（NPO）森のほうかごがっこう、（一社）環境文化研究所、美の里ファームの支援

廃校舎等の施設活用開始
- 体験プログラムづくり、廃校舎改修を経て「竹田農山村交流センターちくちくぼんぼん」オープン



2016年～
- 歯止めの効かない人口減少
- 新しい縁のネットワークづくり（関係人口創出）の必要性を住民が意識

竹田Ｔキャンプ活動開始
- 県内外の大学生が、年間を通じて地区に関わり、地区住民、坂井市と連携して様々なプロジェクトを企画、実行する


地区に伝わる応援歌復活 PJ


川の活用（川床）PJ

2018年～
- 子どもの健やかな育ちを目的とした市民提案の採択
- （NPO）森のほうかごがっこう参画

こどもの森保全事業実施、こどもの森運営委員会設立
- 市民提案事業により施設を整備
  運営を通じて若い世代がまちづくりを担う


木育ガーデン PLAY


木育ガーデン TOY

今後の展望
- **地域資源を活かして、より稼ぎ、仕事を生む地区に**
- **全国に広がる関係人口のネットワークの活用**
- **地区の魅力向上を通じて移住・定住の増加を目指す**
- **木育の里として、子育てするならここでという地区に**

DATA

事例名：『農山村の未来を創る地域協働のまちづくり』
　　一般社団法人竹田文化共栄会
所在地：福井県坂井市丸岡町山口 60-8
連絡先：TEL 0776-50-2393


竹田地区の風景